

特別活動学習指導案

学習者 附属小学校6年1組 33名
授業者 蔦谷 友之

題材名 になりたい「本当の中学生」(4月の自分)について考えよう (学級活動(3)ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成)

1. 題材の目標

- (1) 中学校生活に向けて、希望や目標をもつことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要なことを理解し、具体的な行動の在り方を身に付けるようにする。
- (2) 中学校生活に向けて、よりよく生きるための自己の生活や学習の課題を見出し、付けたい力や具体的な行動目標などについて話し合う活動を通して、自分に合った解決方法を意思決定し、進んで行動することができるようにする。
- (3) 現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとする態度を養うことができるようにする。

2. 題材の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
中学校生活に向けて、希望や目標をもつことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	中学校生活に向けて、希望や目標をもつことについて、よりよく生きるための自己の課題を認識し、付けたい力や具体的な行動目標などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

3. 指導と評価の計画 (1 時間)

時	ねらい (◆) と主な学習活動 (○)	評価規準 (評価方法)		
		知・技	思・判・表	主体
事前 (モジュール)	◆中学校生活について分からないことが不安な気持ちに繋がっていることに気づき、なりたい「本当の中学生」の姿を明確にするために、中学生にインタビューする内容を考えることができるようにする。			
	○中学校進学に向けて、楽しみなことや挑戦してみたいこと、不安なことを出し合う。 ○なりたい「本当の中学生」の姿について考える。 ○附属中学校のHPを参考にしながら、グループで、中学校1年生へインタビューする内容について話し合う。	・〈行動分析〉 〈記録分析〉		
<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の児童会活動と、中学校の生徒会活動って、何が違うんだろう。 ・青垣祭を創りあげるために、どんな力が必要なのかな。 ・中学生になるまでに、どんなことを頑張ればいいのか。 				
事前 (モジュール)	◆小学校生活との違いや必要な力などについて、中学生へインタビューする活動を通して、なりたい「本当の中学生」の姿を具体的に思い描くことができるようにする。			
	○附属中学校へ行き、グループごとに中学校1年生へインタビューする。 ○事前に話し合った質問項目だけでなく、その場で生まれた疑問点も解消できるようにする。 ○分かったことや考えたことをロイロノートにまとめ、共有できるようにする。	○〈行動分析〉 〈記録分析〉		
事前 (モジュール)	◆インタビューの結果などをもとに、自己の課題と照らし合わせながら、なりたい「本当の中学生」の姿について考える活動を通して、将来への見通しをもつことができるようにする。			
	○インタビューで分かったことや中学生の日常生活での姿、家族の願いなどをもとに、自己の課題と照らし合わせながら、なりたい「本当の中学生」の姿を考え、ワークシートに記述する。 ○一年間取り組んできた「価値語」を想起しながら、具体的なめざす像をもつことができるようにする。	・〈行動分析〉 〈記録分析〉	・〈行動分析〉 〈記録分析〉	
<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で正しいと思うことを判断し、行動することが大切だと分かったから、「周りに流されない岩のような中学生」になりたいと思いました。 				

	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から人間関係を広げていくことが苦手だから、「輪と輪をつなぐ存在」になって、他校から入学してくる友達とも仲良くなりたいと思いました。 ・12月までの振り返りや家族の言葉を見ると、授業中の発言力に課題があるから、「波紋の中心」になって活躍できる中学生になりたいと思いました。 		
1 (本時)	<p>◆なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自己の課題と照らし合わせながら、マンダラートを使って考えを広げたり、友達とアドバイスし合ったりする活動を通して、自分に合った解決方法を意思決定し、目標達成のために自己のよさを生かしながら主体的に行動しようとする態度を養うことができるようにする。</p>		
	<p>なりたい「本当の中学生」の姿に向けて、がんばることを決めよう。</p>		
	<p>○なりたい「本当の中学生」の姿について出し合う。</p> <p>○付けたい力や具体的な行動目標について考え、マンダラートにまとめる。</p> <p>○友達とアドバイスし合って、考えを広げられるようにする。</p>	<p>・〈行動分析〉 〈記録分析〉</p>	<p>○〈行動分析〉 〈記録分析〉</p>
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は中学校生活について分からなくて不安だったけど、なりたい「本当の中学生」の姿を具体的に決められたから、有言実行していきたいです。 ・マンダラートに書いた行動目標を全部達成できるか今は心配だけど、一つ一つ意識して生活することで、なりたい「本当の中学生」の姿に近づいていきたいです。 		
朝の会	<p>◆なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、友達とアドバイスし合いながら意思決定し、マンダラートを完成することができるようにする。</p>		
	<p>○友達とアドバイスし合って、マンダラートの内容を加筆・修正する。</p> <p>○振り返りの方法を確認する。(一日の振り返り・週の振り返り・月の振り返り)</p>		<p>○〈行動分析〉 〈記録分析〉</p>
帰りの会	<p>◆マンダラートに立てた行動目標を、一日の終わりに振り返る活動を通して、自己の新たな課題を見出し、なりたい「本当の中学生」の姿に向けた取組の質を継続・向上できるようにする。</p>		
	<p>○ワークシートを使って一日の振り返りを行う。(◎、○、△)</p> <p>○週末に一週間の振り返り、月末に一ヶ月の振り返りを行う。(文章記述)</p> <p>○振り返りをもとに、必要に応じてマンダラートの内容を加筆・修正する。</p>		<p>○〈行動分析〉 〈記録分析〉</p>

4. 本時の指導（1／1）

本時のねらい	なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自己の課題と照らし合わせながら、マンダラートを使って考えを広げたり、友達とアドバイスし合ったりする活動を通して、自分に合った解決方法を意思決定し、目標達成のために自己のよさを生かしながら主体的に行動しようとする態度を養うことができるようにする。
評価規準	なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自己の課題に合った解決方法を意思決定している。
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・『波紋の中心』になるためには、他人任せにしないことが大切だから、自分から手を挙げて授業に参加することを行動目標にしよう。」 ・『輪と輪をつなぐ存在』になって友達関係を創るには、人を楽しませる力が必要だから、係活動で新しいアイデアを出せるように頑張りたいな。」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て
3分	1. 本時のめあてを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで分かったことや中学生の日常生活での姿、家族の願いなどをもとに、なりたい「本当の中学生」の姿について、事前に考えをもつことができるようにする。
	なりたい「本当の中学生」の姿に向けて、がんばることを決めよう。	
10分	2. なりたい「本当の中学生」の姿について、それぞれの考えを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○思い描いている「本当の中学生」の姿とその理由について、様々な児童の考えを学級全体で共有できるようにする。 ・初めにグループの友達と交流することで、全員が自分の考えについて語るようにする。
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で正しいと思うことを判断し、行動することが大切だと分かったから、「周りに流されない岩のような中学生」になりたいと思いました。 ・自分から人間関係を広げていくことが苦手だから、「輪と輪をつなぐ存在」になって、他校から入学してくる友達とも仲良くなりたいと思いました。 ・12月までの振り返りや家族の言葉を見ると、授業中の発言力に課題があるから、「波紋の中心」になって活躍できる中学生になりたいと思いました。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・考えを聞きながら、①なりたい「本当の中学生」の姿、②付けたい力、③行動目標、④今の自分の4つの視点に整理して板書する。
10分	3. マンダラートに、付けたい力や具体的な行動目標を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自分の考えを持ち、マンダラートに書くことができるようにする。 ・個人でマンダラートを書く前に、板書をもとに、付けたい力や行動目標の在り方について、学級全体で話し合うことで、活動の見通しをもつことができるようにする。特に、付けたい力については「本当に必要な力なのか?」、行動目標については「頑張れば実現可能なのか?」を問うことで、実践を見据えた目標を設定できるように

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンダラートのすべての欄を埋める必要はないこと、取組を続ける中で加筆・修正が可能なことを確認する。 <p>※なかなか考えをもつことができない児童には、自己の課題と照らし合わせて考えられるよう、12月までの振り返りや成長ノートなどの記述から、必要な力を捉えられるようにする。</p> <p>◎自己実現を図るために必要な課題解決の方法について、自分の考えをもつことができている。〈記録分析〉</p>
17分	4. 友達とアドバイスし合い、自分に合った課題解決の方法を意思決定する。	<p>○付けたい力や具体的な行動目標について、友達のアドバイスを参考に加筆・修正できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本当に必要な力なのか?」「頑張れば実現可能なのか?」の視点で互いにアドバイスできるようにする。また、自分のマンダラートの参考になりそうな友達の考えは、進んで取り入れることができるようにする。 ・初めにペアで交流した後は、似た考えを持った友達や、なかなか考えをもてずに困っている友達を見つけるなど、自由にペアを組み、アドバイスし合えるようにする。 <p>※なかなか考えをもつことができない児童には、机間指導の際に参考になる考えをもつ友達を見つけ、できるだけ児童どうしの交流の中で解決できるよう支援する。</p> <p>○中間指導を設け、困りを共有し、学級全体で解決方法を考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか考えがまとまらない児童の困りについて、学級全体で話し合い、解決方法を考える経験を通して、自分の付けたい力や具体的な行動目標を考える際の参考にできるようにする。 <p>◎他者と協働しながら、自己実現を図るために必要な課題解決の方法について考え、自分に合った意思決定をしている。〈行動分析・記録分析〉</p>
5分	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○自分が作ったマンダラートを見て感じたことを出し合うことができるようにする。</p> <div data-bbox="220 1547 1477 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は中学校生活について分からなくて不安だったけど、なりたい「本当の中学生」の姿を具体的に決められたから、有言実行していきたいです。 ・マンダラートに書いた行動目標を全部達成できるか今は心配だけど、一つ一つ意識して生活することで、なりたい「本当の中学生」の姿に近づいていきたいです。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教室掲示から、今まで一年間で付けてきた力と、なりたい「本当の中学生」の姿に向けて付けたい力には、関連性があり、今まで頑張って身に付けてきた力は、中学校生活でも生かされる力であることに気付くことができるようにする。 ・朝の会でマンダラートを完成することを確認する。

